



シュタイナーの社会思想は、
これからの日本にどのように理解され、生かされる可能性を
持っているのでしょうか。

シュタイナーの社会思想

2017. 11.16 (木) 19:00-21:00

●対 談: たかはし いわお いるま かい
高橋巖 × 入間カイ

●進 行: 和多利恵津子(ワタリウム美術館)

突然の衆院解散と総選挙をへて、現在、多くの方が社会のあり方について考えているのではないのでしょうか。憲法に重きをおく人も、「積極的棄権」を唱える人も、あいかかわらず政治には関心を持ってないという人も、心のどこかで今日の社会について思うところがあるはずですよ。

ルドルフ・シュタイナーは、人類が初めて体験した「世界大戦」の直後、人々の無意識の衝動に応えるような社会運動を模索しました。「社会三分節化運動」として知られるその試みは、ヘルマン・ヘッセやトーマス・マンなど多くの文化人の支持を集めながらも挫折し、結局、ヒトラーのナチズムによる惨禍をくいとめることはできませんでした。けれど、そのときの社会思想は、今日世界中に広がるシュタイナー教育や医学、農業などのベースになっています。

今の私たちが抱える危機感は、当時のシュタイナーの思いに重なります。

シュタイナー思想を日本に紹介した第一人者である高橋巖氏と、その現代的展開を試みている入間カイ氏が語ります。

●高橋巖:東京生まれ。1973年まで慶應義塾大学、同大学院教授。70年代からシュタイナーとその思想である人智学の研究会や翻訳の活動に入る。1985年、日本人智学協会設立、同代表。シュタイナーの主著の翻訳をはじめ著訳書多数。

●入間カイ(高橋明男):鎌倉生まれ。上智大学比較文化学科卒業。通訳・翻訳業を経て、2007年~2016年まで日本シュタイナー幼児教育協会代表。現在、ゲーテアナム医学部門外部研究員、学校法人那須内海学園那須みふじ幼稚園理事長・園長。

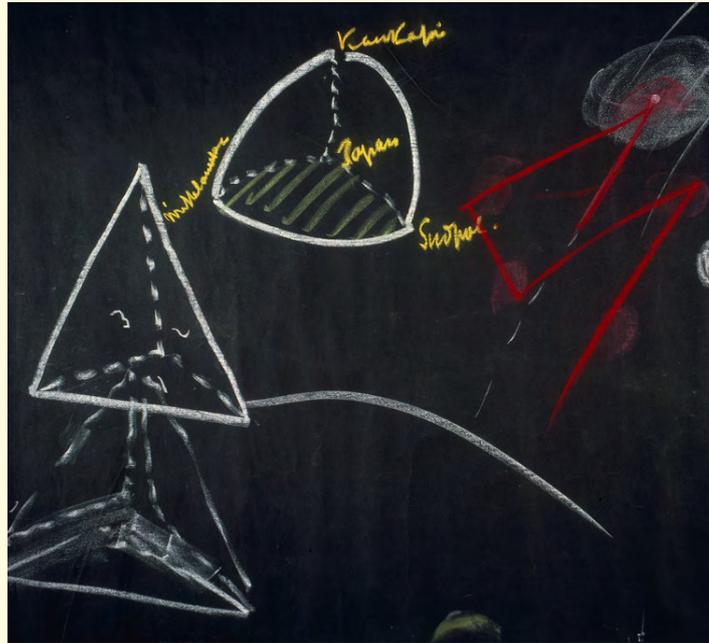
REBORN
ART
FESTIVAL
IN
TOKYO

リボンアート・フェスティバル 東京展
そこで何が起きていたのか?
2017年10月20日(金)-12月10日(日)



ルドルフ・シュタイナー
大地のリズム,1923

ルドルフ・シュタイナー 日本,1924



●会場:ワタリウム美術館
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前3-7-6
Tel: 03-3402-3001

●参加費:1,800円
サポート会員 900円
アートパス会員 1,440円

●申込方法:

ご参加をご希望の方は、下記、申込書を送信いただき、併せて、下記の口座へお振込ください。ご入金をもって受付完了となります。ご入金確認後、11/14までに受付票をE-mailにて返信いたします。

●送信先:Fax:03-3405-7714

E-mail:order@watarium.co.jp

●振込先:三井住友銀行 青山支店

[普]1033281[名義]ワタリウム美術館

●シュタイナーの社会思想_申込書

氏名	会員 No.
TEL	FAX
E-mail	
ご住所	

- 携帯電話メールはワタリウム美術館からの返信が入らない場合がございますので、ご注意ください。
- ご入金後のお客様のご都合による返金はできませんので、ご注意ください。
- 定員になり次第、受付を終了いたします。